平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月11日

上場会社名　株式会社中央製作所　　上場取引所　名
コード番号　6846　URL　http://www.chuo-seisakusho.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 後藤　邦之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長　(氏名) 篠田　政明　TEL 052-821-6155

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,091	34.8	23	―	△5	―	△14	―
23年3月期第2四半期	1,552	66.6	△62	―	△60	―	△62	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1.84	―
23年3月期第2四半期	△7.98	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,265	1,299	30.5
23年3月期	3,948	1,315	33.3

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　1,299百万円　23年3月期　1,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	29.6	148	―	113	―	100	―	12.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	7,843,000 株	23年3月期	7,843,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	74,532 株	23年3月期	73,132 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	7,769,389 株	23年3月期2Q	7,773,687 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
４．補足情報 …… 9
（１）生産実績 …… 9
（２）受注実績 …… 9
（３）販売実績 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により大きな被害を受けたサプライチェーンの復旧も進み、懸念されていた電力不足も回避されたことで、回復途上に向かうかに思われましたが、原発事故に伴う放射能汚染問題、欧州の財政危機、金融不安及び世界同時株安や歴史的な円高等未解決の問題も多く、本格的な回復には至らない状況で推移いたしました。

当社はこのような情勢において、積極的な営業活動を展開し、その結果、当第２四半期累計期間の受注高は2,419百万円（前年同期比54.1％増）、売上高は2,091百万円（前年同期比34.8％増）と、大幅に増加いたしました。一方で、セグメントごとの跛行性も大きく、また、一部の素材・部品の入手難によるコスト増もあり、収益面につきましては、営業利益は23百万円にとどまり、さらに為替差損や株式市況のマイナス要因も加わり経常損失５百万円、四半期純損失14百万円の計上となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（電源機器）

電源機器におきましては、製品に対するコスト低減・納期短縮に重点を置き、販売・生産活動を継続してまいりました。その結果、受注高は944百万円（前年同期比45.5％増）、売上高は931百万円（前年同期比100.7％増）と大幅に増加いたしました。一方で長引く円高等により、国内での需要は減退する気配もあります。商品の高度化・差別化により、厳しさを増す市場で優位に立とうとする顧客の電源に対するニーズは、ますます多様化しております。そのような要求に応えるため、一層の技術開発力の強化に取り組んでまいります。

（表面処理装置）

表面処理装置におきましては、前下半期より引き続きリーマンショック以降の落ち込みから緩やかながら引き合い件数・受注ともに回復傾向にありました。国内顧客の海外進出に伴う需要も増加している一方で、国内の生産品目に対する差別化に資する改造及び新規設備投資案件も目立ってまいりました。その結果、受注高は829百万円（前年同期比118.1％増）、売上高は554百万円（前年同期比7.1％減）となりました。今後も今般の急激な円高環境下で増加が予想される海外納入設備に対する供給体制の整備や現地工事の管理の徹底を行い、より柔軟な供給体制の構築を目指してまいります。また、高度化する顧客の設備に対する要求に応え、技術開発を進めてまいります。

（電気溶接機）

電気溶接機におきましては、国内市場における輸送機業界や鋼製家具業界等などの既存市場の需要に加え、市場の拡大が期待できる海外市場に対し、汎用溶接機用制御装置等の積極的な営業活動を展開しましたが、受注高は252百万円（前年同期比11.5％減）、売上高は280百万円（前年同期比0.8％増）となりました。今後も海外市場への積極的な営業展開を継続する一方、国内市場に対しては、既存の汎用溶接機用制御装置や新たに開発いたしました小容量の直流インバータ電源などのＰＲを足掛かりに拡販に努めると共に、市場から求められる製品の開発並びに新規事業の柱の育成を進め、受注・売上の増大と、安定的な利益の確保に努めてまいります。

(環境機器)

環境機器におきましては、表面処理工場における排気のクリーン化、薬液のリサイクル及び省エネルギー化などの環境対応技術開発を進め、当期にはガス除去率を一層向上させた新型スクラバーを市場投入するなど環境にやさしい表面処理システムの実現に役立つ環境機器の拡販に努めてまいりました。その結果、環境機器全体では、受注高は138百万円（前年同期比10.5%増）、売上高は138百万円（前年同期比14.2%増）と増加いたしました。今後もより環境負荷の少ない表面処理に役立つ技術の開発を進めてまいります。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ10.5%増加し3,531百万円となりました。これは、現金及び預金が180百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が247百万円、仕掛品が206百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2.6%減少し733百万円となりました。これは、投資その他の資産が８百万円、有形固定資産が６百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ8.0%増加し4,265百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ17.4%増加し2,124百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が314百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2.3%増加し841百万円となりました。これは、退職給付引当金が10百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ12.6%増加し2,965百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ1.2%減少し1,299百万円となりました。これは、利益剰余金が14百万円、その他有価証券評価差額金が１百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動の結果141百万円の支出、投資活動では14百万円の支出となり、財務活動では0.1百万円の支出及び現金及び現金同等物に係る換算差損が24百万円となったことから、資金は180百万円減少し901百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は141百万円（前年同期は収入422百万円）となりました。

収入の主な内訳は、仕入債務の増加額268百万円、減価償却費23百万円であり、支出の主な内訳は売上債権の増加額269百万円、たな卸資産の増加額223百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は14百万円（前年同期は収入97百万円）となりました。

支出の主な内訳は有形・無形固定資産の取得による支出14百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は0.1百万円（前年同期比98.7%減）となりました。

支出の主な内訳はその他の自己株式の取得による支出0.1百万円等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第２四半期累計期間の売上高につきましては、当初の予想値通り達成することができましたが、収益面につきましては、為替相場や株式市況の大幅な変動により、平成23年５月13日に公表いたしました第２四半期累計期間の業績予想値と実績値に差異が生じることとなりました。

また、通期業績予想につきましても、収益面では、第２四半期累計期間の業績修正が影響しますので、平成23年５月13日に公表いたしました通期業績予想を修正することとしました。

詳細につきましては、本日公表の「為替差損の計上及び業績予想と実績との差異並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,132,831	951,880
受取手形及び売掛金	1,380,550	1,627,655
商品及び製品	70,946	64,761
仕掛品	508,780	715,502
原材料及び貯蔵品	64,278	87,172
その他	38,998	85,619
貸倒引当金	△400	△800
流動資産合計	3,195,985	3,531,792
固定資産		
有形固定資産	323,950	317,807
無形固定資産	19,916	16,583
投資その他の資産	409,524	400,796
貸倒引当金	△507	△1,810
固定資産合計	752,883	733,376
資産合計	3,948,869	4,265,168
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	750,701	1,065,600
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	5,734	4,188
その他	213,524	214,217
流動負債合計	1,809,960	2,124,006
固定負債		
退職給付引当金	588,715	599,471
役員退職慰労引当金	211,900	220,300
その他	22,368	21,822
固定負債合計	822,983	841,593
負債合計	2,632,944	2,965,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	511,446	497,158
自己株式	△11,235	△11,361
株主資本合計	1,228,796	1,214,383
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	87,128	85,185
評価・換算差額等合計	87,128	85,185
純資産合計	1,315,925	1,299,568
負債純資産合計	3,948,869	4,265,168

（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	1,552,398	2,091,892
売上原価	1,194,522	1,626,724
売上総利益	357,876	465,167
販売費及び一般管理費	420,144	441,471
営業利益又は営業損失（△）	△62,267	23,695
営業外収益		
受取利息	545	68
受取配当金	1,722	3,329
保険配当金	4,754	－
雑収入	4,734	1,488
営業外収益合計	11,756	4,886
営業外費用		
支払利息	5,625	5,458
為替差損	2,934	28,301
雑損失	1,135	381
営業外費用合計	9,695	34,141
経常損失（△）	△60,207	△5,558
特別損失		
固定資産除却損	119	520
投資有価証券売却損	422	－
投資有価証券評価損	－	7,141
特別損失合計	542	7,661
税引前四半期純損失（△）	△60,749	△13,220
法人税、住民税及び事業税	1,287	1,067
法人税等合計	1,287	1,067
四半期純損失（△）	△62,037	△14,287

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△60,749	△13,220
減価償却費	27,520	23,179
退職給付引当金の増減額（△は減少）	235	10,755
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	900	8,400
受取利息及び受取配当金	△2,267	△3,398
支払利息	5,625	5,458
投資有価証券評価損益（△は益）	―	7,141
売上債権の増減額（△は増加）	462,517	△269,167
たな卸資産の増減額（△は増加）	△102,701	△223,430
仕入債務の増減額（△は減少）	11,276	268,326
未払費用の増減額（△は減少）	5,529	6,471
その他	82,067	41,799
小計	429,954	△137,686
利息及び配当金の受取額	2,267	3,398
利息の支払額	△5,570	△5,517
法人税等の支払額	△3,722	△2,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	422,929	△141,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	―
定期預金の払戻による収入	200,000	―
投資有価証券の取得による支出	△198	△236
投資有価証券の売却による収入	4,197	―
有形固定資産の取得による支出	△4,666	△12,995
無形固定資産の取得による支出	△515	△1,470
その他	△1,511	653
投資活動によるキャッシュ・フロー	97,306	△14,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△9,996	―
配当金の支払額	△646	△18
その他	△188	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,830	△144
現金及び現金同等物に係る換算差額	―	△24,832
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	509,404	△180,951
現金及び現金同等物の期首残高	1,012,085	1,082,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,521,490	901,880

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況（自 平成23年４月１日　至 平成23年９月30日）

(1) 生産実績

当第２四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	1,073,273	89.4
表面処理装置	683,349	18.5
電気溶接機	266,530	△2.1
環境機器	147,519	7.5
その他	185,724	12.0
合計	2,356,396	37.1

（注）１　金額は、販売価格によっております。
　　２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第２四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	944,495	45.5	612,145	57.2
表面処理装置	829,561	118.1	1,169,924	352.9
電気溶接機	252,403	△11.5	56,169	△41.7
環境機器	138,994	10.5	29,565	△31.4
その他	253,545	96.2	121,430	26.5
合計	2,419,000	54.1	1,989,234	125.3

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第２四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	931,973	100.7
表面処理装置	554,377	△7.1
電気溶接機	280,281	0.8
環境機器	138,342	14.2
その他	186,917	103.3
合計	2,091,892	34.8

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。